

【4段階評定 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

項目	自己評価		学校の自己評価結果コメント	学校関係者評価委員	
	目標別	総合		評定	コメント
① 日々の授業の充実～4つのチェックポイントを意識した授業改善	3	3	○ 校内主題研究において、国語科の授業改善を図り教師一人一人の指導力向上及び本校児童の課題である読み取る力の向上に努めてきた。 ○ 児童、保護者、教師共に肯定的な自己評価が高い。特に、保護者は97%が肯定的にとらえている。	3	○ 授業の充実度について保護者の97%が肯定的に評している点が特に良い。
② 学びに向かう力の育成～話の聞き方・発表のさせ方の定着と立腰指導の徹底	3		○ 授業の1分前にオルゴールを流すことで、児童は「1分前着席、立腰・黙想、チャイムがなりおわたら号令」が定着してきた。児童に立腰の姿勢で授業の開始を待つという習慣化が図られてきた。 ○ 立腰の意識づけが図られてきたことで、児童の話の聞き方がよくなってきた。発表のさせ方については発表の少ない児童もいる等の課題があり、今後も指導が必要である。		○ すばらしい教育実践であり、児童の学習態度向上に大いに効果があると思う。 ○ 授業に対する様々な手立ての継続的な取組により、授業に向かう力が育成されていました。 ○ 発言の少ない児童に積極的に発表を促す指導をお願い致します。
③ 読書の推進～読み聞かせグループの協力による読書指導、学校図書館の整備、蔵書の充実	3		○ 保護者による読み聞かせグループや児童による委員会による読み聞かせを行った。どの児童も熱心に聞くことができ、読書への意欲付けが図られた。 ○ 学校図書館の整備については、図書館サポーターを中心に、事務職員、図書委員会の児童が行うことで、図書館の環境整備が進んできた。 (図書貸出冊数昨年度16487冊 今年度12月24日現在18554冊)		○ 保護者の協力が児童の読書力向上につながっていると思う。
④ 指導方法の確立～高城中、石山小との合同研修による指導力向上を目指した研究授業の実施	2		○ 今年度は年3回の小中一貫合同研修が計画されていたが、コロナ感染状況より実施できなかった。 ○ 研究主任、教務主任を中心に高城ブロック小中一貫教育担当者会を開き、3校の共通実践事項を確認しながら、各学校で実践することができた。		○ コロナ禍で研究が計画通りに行われなかったのは残念である。
⑤ 個に応じたきめ細かな指導の徹底～学力テストの分析結果の活用 Web単元テスト徹底指導	3		○ 全国学力状況調査、みやざき学力調査は中止になったが、市販の学力テストを実施することができた。しかし、昨年度の臨時休業による前学年の未履修内容の指導、今年度の臨時休業による教科時数の減少等により、学力テストの結果を受けての個別指導の時間を確保する事は難しかった。		○ 期待通りにできなかったことは少し残念である。
⑥ 家庭との連携による「学ぶ高城っ子」の育成～家庭学習の充実、学びの構えや環境づくりへの共通理解・実践	3		○ 11月の参観日に家庭学習ノート展示を行い、家庭学習の在り方について保護者への啓発を行った。児童も意欲的に取り組んでいる。 ○ 今後もより一層保護者との連携のもと家庭学習を進めるために、家庭学習ノートの見直しを行った。		○ 児童が4の評価をしているところが注目される。 ○ 参観日の学習ノート展示は、児童の意欲向上、保護者への啓発の面から効率的であると思います。

知

【4段階評定 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

	項目	自己評価		学校の自己評価結果コメント	評定	学校関係者評価委員		
		目標別	総合			コメント		
徳	① 道徳の時間の指導の充実～人権意識の啓発、「いのちの授業」の実施		3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月「命の大切さを考える日」（心ぼかぼかデー）を設定し、各学級で命の大切さに関する指導を行ったり、11月を「心ぼかぼか月間」とし、命の大切さや人権に関する授業を全学級で実施したりしたことで、家庭でも人権に関する話し合いを行う等、児童や保護者に対して人権意識の醸成を図ることができた。 ○ みやざき動物愛護センターの方を講師として招聘し「いのちの授業」を実施した。命の大切さを改めて考えるよい機会となった。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年すばらしい講演が聞かれ児童の徳育向上につながっている。 		
	② 定期的な教育相談の実施と見届け～ハートフル委員会の充実といじめ不登校の実態把握と対策の徹底		3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画的に心のアンケートを実施し、その後の教育相談の機会を確保しながら、児童の実態の把握に努めることができた。 ○ ハートフル委員会を実施することで、児童の実態、今後の対応等を全職員で共通理解することができた。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ ハートフル委員会が実施されたことで、共通理解できたことは、児童の教育相談にとって意味がある。 		
	③ 異学年交流や幼稚園との交流による連帯感の育成～表現集会、避難訓練、異学年清掃、日常の遊び等での交流		3	3		<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ感染防止対策のため、異学年交流が限られていたが、つながりプロジェクト(異学年縦割り活動班)を編制し、清掃や読み聞かせ等で、異学年が協力して活動する機会を設けることができた。 ○ 児童の62%が期待以上、28%が期待通りと高い評価だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異学年交流は大きな成果が期待できる児童の4の評価に表れている。 ○ 感染防止策を講じながら、難しい点もあるともいますが、ぜひ工夫して取り組んでいただきたいと思います。 	
	④ 時と場に応じた基本的な生活習慣の徹底～あいさつ、返事、整理整頓等の徹底（家庭との連携）		3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな事件・事故等なく2学期まで終えることができた。 ○ 各学年の発達段階に応じた基本的な生活態度の定着を図る指導を行ってきたため、時と場に応じた行動を児童が心がけるようになってきた。 ○ あいさつや忘れ物等には個人差があり、継続して家庭との連携を密にしていく必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分で考え、実践できる力を育ててほしい。 ○ 仕事で学校を訪れた時、他の学校に比べてあいさつをする生徒が非常に少ない。 		
	⑤ 自他の生命やきまりを守る指導の徹底～安全な登下校、施設、設備の安全点検と安全な使用の指導		3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登下校や放課後、休日においては、地域・家庭の理解と協力があり、事故等が発生することがなかった。 ○ 民生委員児童委員との連絡会を通して地域から児童に関する情報提供を受け、その都度指導することができた。 ○ 適切な安全点検を実施したことで、校内での事故が発生することはなかった。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 民生委員児童委員との連絡会を通して、児童が安全に学校生活を送れて良かった。 		

【4段階評定 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

項目	自己評価		学校の自己評価結果コメント	学校関係者評価委員	
	目標別	総合		評定	コメント
体	① 体力の向上～体育の授業や行間活動の充実、運動量の確保、体力向上プランの確実な実施と個への対応	3	3	○ 今年度は、体力テストの中止、体育科学習における内容制限等があり、体力向上プランの実施が難しかったが、児童の運動量の確保を工夫しながら行うことができた。	○ 児童の体力向上に努めるのは大変苦労されたと思う。
	② 体育的行事の充実～運動会の充実や持久走及び縄跳び運動の推進	4	3	○ 運動会では、内容精選、時短、3密の防止、アルコール消毒の徹底等の手立てをとりながら、運動会を実施することができた。 ○ 教師の78%が期待通りの評価だったが、児童の91%、保護者の56%が期待以上の高い評価だった。	○ 困難な状況の中での運動会の成功は児童にとって良い思い出になったと思う。 ○ 難しい状況の中で、工夫のある実施でした。児童も限られた時間の中で成長し達成感をもったことでしょう。 ○ 2部制により開催できたことは、期待以上の成果「4」が妥当と思います。 ○ コロナ禍の新しい運動会の在り方でした。先生方が試行錯誤しながらなんとか実施できるよう対策が取られていた。
	③ 運動を楽しむ態度の育成～休み時間や放課後等の外遊びの奨励	3	3	○ 昼休みの運動場使用制限や接触する運動の制限等の手立てをとりながら、外遊びの奨励を行った。 ○ コロナ感染拡大防止対策の他に熱中症対策のための外遊びの制限、校舎全館空調設備の整備もあり、教室で過ごす児童も少なくなかった。	○ 児童は外遊びが大好きである。今後の教育活動に生かしてほしい。
	④ 立腰指導の徹底～整列時並びに時と場（集団行動）に応じた指導	3	3	○ 養護教諭がパワーポイントを活用した具体的な立腰指導を行った。また、児童が自分の姿勢を確認できるように机に2本の線を引くことで、児童に立腰の意識づけが図られた。	○ 集団行動は大切である。
	⑤ 「弁当の日」の実施～年間3回（食生活への関心を高める取組、家族の絆を深め感謝の気持ちをあらわす			○ 弁当の日を年3回設定したが、コロナ感染状況により実施できなかった。来年度は弁当の日の意義を保護者に啓発しながら計画とおりに実施していきたい。	
	⑥ ノーメディアデーの取組～学校保健委員会や参観日等を活用した啓発	3		○ スマホに関するアンケートの結果を保護者に伝え、多くの児童がスマホを所有している現状、スマホの正しい使い方、ゲーム依存の危険性について啓発することができた。 ○ 今年はコロナ感染状況のため、学校保健委員会の未実施、参観日の中止等により、ノーメディアの徹底まではできなかった。	○ ゲーム依存の問題にもっと取り組むべきですが、時間が取れなかったのかと思う。
	⑦ 健康の保持増進～「早寝・早起き・朝ごはん」、歯磨き、むし歯治療の推進	3		○ コロナ感染拡大防止対策のために、マスク着用、手洗い、検温等を家庭と連携しながら取り組んできた。「新しい生活様式」について児童や保護者にも啓発を図りつつ、今後も徹底していく必要がある。 ○ むし歯治療率は12月現在61%だが、未受診者の9割は昨年度も未受診のため、保護者への継続的な啓発が必要である。	○ 今後継続して習慣化してほしい。

令和2年度 都城市立高城小学校 学校評価書 No.4

【4段階評定 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

	項目	自己評価		学校の自己評価結果コメント	学校関係者評価委員		
		目標別	総合		評定	コメント	
その他	① ふるさと教育の推進～実習田での田植え・稲刈り体験等		3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生の福祉教育、4年生の環境教育、5年生の米作り、6年生の歴史学習等において地域人材を生かした学習を行っている。 ○ 昨年度始めた5、6年生対象の保護者を講師としたキャリア教育については計画はしていたが、コロナ感染状況のために実施できなかった。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ どの教育も大切な教育であると思う。 ○ 地域の方々との交流もあり、食育にもつながるとてもよい機会だと思う。 ○ 評価は適正と思います。コロナ禍が去った後、キャリア教育はぜひ実施して戴きたい。 	
	② コンプライアンスに関する研修と実践～学期1回（その他必要に応じて）の研修と日々の実践・振り返り		3	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンプライアンス推進委員会においてまとめた「高城小学校コンプライアンス宣言」を保護者に周知したり、教頭会の資料を用いて具体的な事案の指導を徹底したりすることで職員の意識を高めてきた。 ○ コンプライアンスチェック表をもとに日々の実践を振り返るとともに、課題を明確にし対応を検討して進めることができた。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 十分なされていたと思います。 	
	③ 学校と家庭・地域の連携～PTA活動・地域行事への積極的な参加、安全な通学路の確保		3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月当初に災害時の避難経路の確認と訓練を行うことができた。また、不審者対応についての避難訓練も児童の動きを確認しながら実施することができた。しかし、非常災害時の児童の保護者引渡訓練については、9月に行う予定だったが、コロナ感染状況の為に実施できなかった。 ○ すこやか会議、見守り隊との顔合わせ会や感謝集会等が実施できなかった。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童たちは元気よく頑張ってくれたと思います。
	④ 魅力ある参観授業と学級懇談の実施～参観率・懇談率アップ		3		<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画では、保護者や地域の方が来校しやすいようにオープンスクールや日曜参観を計画したが、半分しか実施できなかった。 ○ 参観を実施する際に当たって、参観人数制限、体調管理、マスク着用等の手立てをとったが、保護者の方から協力をいただき、昨年より参観率、懇談率が増加していた。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の出会率が高いのがよかったと思う。
	⑤ 学校運営協議会の充実～年間5回		3		<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年より協議会委員の方々に児童の様子を参観する機会の提供が少なかった。また、協議会における密を避けるための会場の変更、協議時間の短縮のための協議会資料事前配付等の工夫を行った。 ○ 協議会では、コロナ感染状況や働き方改革による学校運営の在り方について意見をいただいた。今後も学校運営に生かしていきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 会議が十分に聞けなかったのは残念である。 ○ 限られた時間での参観でありましたが、資料なども工夫されており、児童の姿をよく見ることができました。ありがとうございました。 ○ 12月15日の協議会の題材が働き方改革だった。そこは、コロナ対策だと思う。40分程度の会で、学校側が35分話をするのはおかしいと思う。自らやっているのではなく、ただ何となくやさらされている感じが非常にする。